

2005/7/7

第8回JPNICオープンポリシーミーティング

APNIC19 レポート

日本ネットワークインフォメーションセンター
IP事業部 奥谷泉



目次

1. APNICミーティング概要
2. 提案事項のご紹介
3. その他特筆点のご紹介
4. 次回APNICミーティングのご案内

ミーティング概要

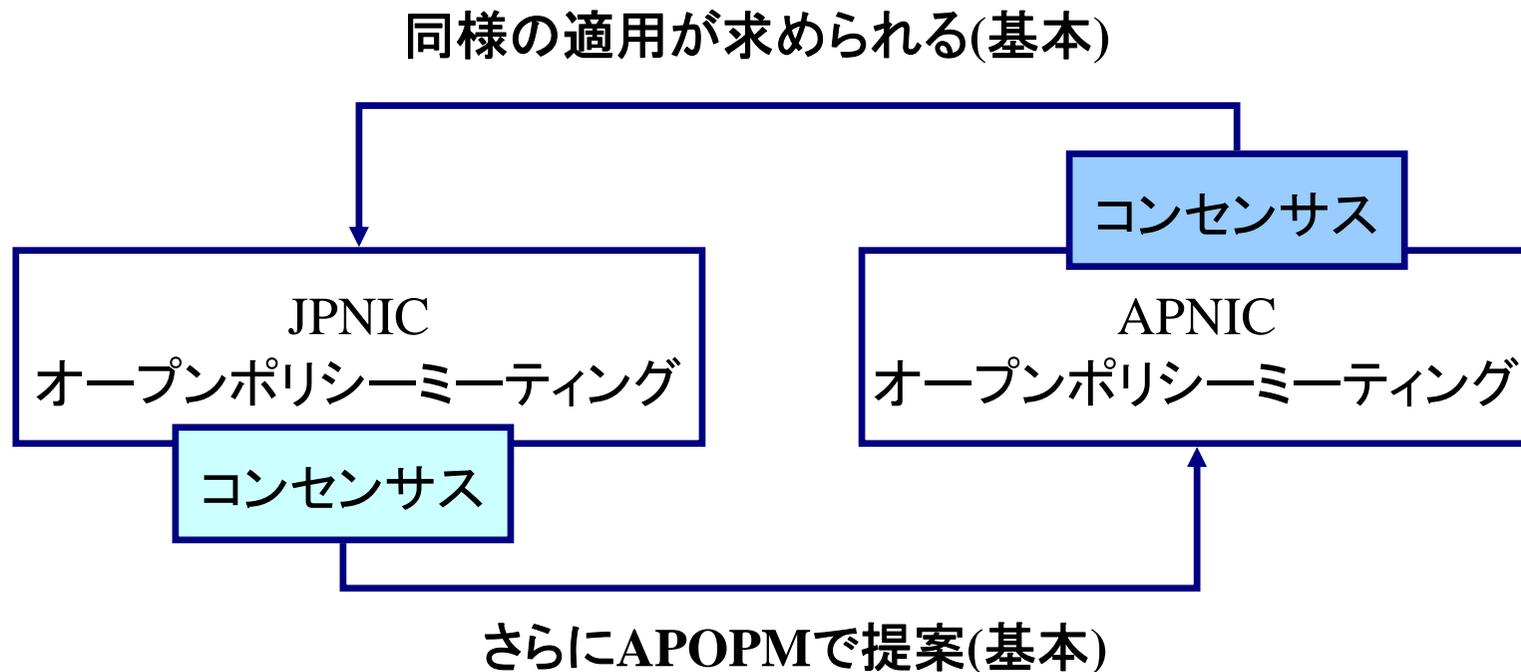
APNICオープンポリシー ミーティング(APOPM)とは

- 目的:
 - アジア太平洋地域におけるIPアドレス・AS番号の管理ポリシー等について議論を行う

JPOPMの
アジア太平洋
地域版

- 参加者・構成:
 - ICANN・RIR関係者、NIR、LIR、ISP等(約120名)
 - 年2回、4～5日間開催

APOPMとJPOPMの関係



若干のポリシーの違いは認められるが、
基本的にAP地域全体との協調が必要

APNIC19の概要

- 開催期間:
 - 2005年2月21日(月)～25日(金)



- 開催地:
 - 京都

JPNICからの参加

IPアドレス担当理事	前村昌紀
IP事業部	3名
技術部	2名

- 参加者:
 - 約115名

APNIC19の特徴

- 提案事項が少なく、全SIGを通して2点
- インターネットガバナンスの取り組み、IETFでの動向紹介等、アドレス管理に関わる、より大きな枠組みの活動の紹介
- EC選挙、SIGチェアの交代

ミーティングプログラム

<http://www.apnic.net/meetings/19/programme/index.html>

トレーニング・チュートリアル

- APNIC トレーニング、スパム対策、セキュリティ

Bird of Feathers(BOF)

- APOPS、インターネットガバナンス、PGPキーサイニング
パーティ

Special Interest Groups(SIGs)

- DB、IPv6 テクニカル、アドレスポリシー、ルーティング、
IX、DNSオペレーション、NIR

APNIC総会

非公開のセッション

- APNIC担当者との相談会、NIRワークショップ等

従来から
大きな変更なし

提案事項

提案事項一覧

- アドレスポリシーSIG
『IPv6アドレスの普及に向けたIPv4アドレス実験利用プログラム第2フェーズについて』
(IPv6普及・高度化推進協議会 伊藤公祐)
- データベースSIG
『APNICによるIPアドレス統計情報の提供について』
(JPNIC 穂坂俊之)

提案事項のご紹介(1)

- アドレスポリシーSIG
『IPv6アドレスの普及に向けたIPv4アドレス実験利用
プログラム第2フェーズについて』
- データベースSIG
『APNICによるIPアドレス統計情報の提供について』

実験内容

- IPv6ネットワークへの移行を前提に、参加組織へIPv4アドレスを付与し、IPv6アドレスの普及を図る
- 実験期間終了後は利用したIPv4アドレスを返却

提案概要

- 実験期間を2001年～2005年末→2008年末へ延長したい
- 延長理由
 - ほとんどの参加組織がIPv6ネットワークの運用を開始しているがIPv4アドレスのリナンバが課題
 - リナンバの取り組みを検討する期間が必要

JPコミュニティから いただいたご意見

今後延長の繰り返しが行われるのではないか。
このままIPv4アドレスの利用を続けて浪費を行う
ことは避けてほしい(2005年2月10日 ip-users
ML)

※上記1件以外ご意見は特になし

Copyright (c) 2005 社団法人 日本ネットワークインフォメーションセンター

APNICミーティングでの 議論

- JPNICからの確認
 - プログラム終了後のアドレスの返却義務を契約書に盛り込み、返却プロセスを明確に！
- 提案者からの約束
 - プログラム終了後、実験で利用しているアドレス空間を返却する
 - 返却プロセスについてAPNICと協議を始める



結果

- 2008年にプログラムが終了する意思確認、返却プロセスを明確にすればアドレスの浪費にはつながらないと判断
- コンセンサスが得られ、APNIC EC(理事)も実装を承認(5月13日)
- 実験参加者以外の方への影響はない

提案事項のご紹介(2)

- アドレスポリシーSIG
『IPv6アドレスの普及に向けたIPv4アドレス実験利用プログラム第2フェーズについて』
- データベースSIG
『APNICによるIPアドレス統計情報の提供について』

提案概要

- APNICによる国別割り当て件数の統計情報の提供(毎月)
- 理由
 - 割り当て情報公開任意化のため、割り当て情報をすべてWHOISで確認することができない
 - アドレスの消費を確認するうえで有益な参考情報である

結果

- JP・APコミュニティのどちらからも大きなコメントはなし
- コンセンサスが得られ、APNIC EC(理事)も実装を承認(5月13日)
- 今後、APNICにより割り当て情報の統計も提供される

提案事項まとめ

- アドレスポリシーSIG
『IPv6アドレスの普及に向けたIPv4アドレス実験利用プログラム第2フェーズについて』
⇒結果:コンセンサス
- データベースSIG
『APNICによるIPアドレス統計情報の提供について』
⇒結果:コンセンサス

その他

その他特筆点

- インターネットガバナンスアップデート
- IETFの動向紹介
- EC選挙
- SIGチェア・コチェアの交代

インターネットガバナンス アップデート

23

- モデレーター
 - 会津泉氏(IGTF)
- パネリスト
 - 政府機関、市民団体、RIR等の代表者
- テーマ
 - インターネットにおける政府、民間の役割
- パネリストの共通見解
 - 業界の発展をうながす規定、法律の整備は 政府の役割として必要

IETFの動向紹介

- ip6.intによる逆引き委譲の完全廃止
 - <http://www.apnic.net/meetings/19/docs/sigs/dns/ipv6-int.pdf>
- IPv4アドレスにおけるプライベートアドレス空間の拡張（ /8アドレスブロックをもうひとつ追加）
 - <http://www.apnic.net/meetings/19/docs/sigs/policy/pol-txt-hain-1918bis-01.txt>
- 閉じたネットワークのためのIPv6アドレスにおけるユニークローカルアドレス
 - <http://www.apnic.net/meetings/19/docs/sigs/policy/pol-rep-ipv6-unique-local-addr.txt>

EC選挙

Hualin Qian(中国)



(継)

Kuo-Wei Wu(台湾)



(継)

Moo-Ho Billy Cheon(韓国)



(新)

Yan Ma(中国)



(継)

SIGチェアの交代(敬称略)

- ポリシーSIG [Chair]
 - 荒野高志 ⇒ Kenny Huang
- NIR SIG [Chair]
 - 前村昌紀 ⇒ 奥谷泉
 -
- IPv6テクニカルSIG [Co-Chair]
 - 村井純 ⇒ 藤崎智宏、Tao Chen

Chairは引き続き山本和彦

次回のAPNICミーティング





2005年9月6日(火)~9日(金)、ハノイで開催！

参加登録受
付開始済

ミーティング関連情報

<http://www.apnic.net/meetings/20/index.html>

プレゼンテーション、NRO Number Council
候補者も募集中



APNICでの提案事項についてのご意見は

ip-users@nic.ad.jpまで